

# 入学者選抜

第1期募集	試験日 令和6年12月21日(土)	出願期間 令和6年11月15日(金)から11月29日(金)まで
第2期募集	試験日 令和7年2月23日(日)	出願期間 令和7年1月10日(金)から1月20日(月)まで

- 入試日程は、**全ての選抜試験（前期・後期、一般・社会人）で共通**です。  
(令和8年度以降の試験日は、9月上旬(第1期)、1月下旬(第2期)を予定)
- 受験を希望する場合は、出願前に**希望する専門領域の指導教員への事前相談が必要**となります。
- 短期大学や専門学校卒業生等で看護師国家資格を有する者、又は看護師の免許を有していない看護系以外の大学卒業生や学士の資格を有さない社会人については、出願資格審査を受ける必要があります。
- 助産コースは、第1期試験で合格者が定員に達した場合、第2期試験を実施しないことがあります。

## ■ 博士前期課程

試験区分：一般選抜、社会人選抜  
入試科目：「英語（読解）」「看護専門（記述式）」及び「面接」

## ■ 博士後期課程

試験区分：一般選抜、社会人選抜、内部進学者選抜  
入試科目：「英語（読解）」及び「口頭試験（研究計画のプレゼンを含む）」  
※ 内部進学者選抜は「口頭試験（研究計画のプレゼンを含む）」のみ

# 入学選考料・入学料・授業料

入学選考料	30,000円（内部進学者は徴収しない）
入学料	282,000円（1年以上市内に在住又は在勤している者は141,000円）
授業料	535,800円/年

# 学びやすい学習環境

### 第2キャンパス(川崎駅前) 整備中

〔川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティア・ビル10階〕



- 川崎駅から徒歩3分の場所に大学院校舎を整備（博士前期課程助産コースは第1・2校舎を併用）
- いつでもどこでも学べるe-learningの活用
- 自宅から参加できるオンライン授業

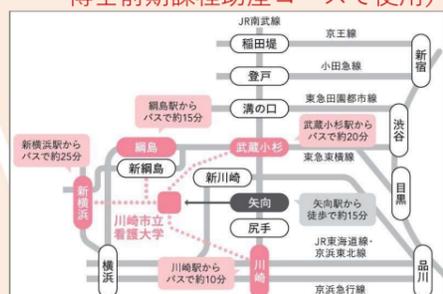
時限	1限	2限	3限	4限	5限	6限
開始時刻	10:00	12:20	14:10	16:00	18:15	20:05
終了時刻	11:40	14:00	15:50	17:40	19:55	21:45

・就業後に通うことを想定した時間割（平日5・6限を基本、土曜日授業あり）

### 第1キャンパス(幸区小倉)

〔川崎市幸区小倉4-30-1 大学校舎〕

（看護学部と看護学研究科の博士前期課程助産コースで使用）



- 川崎駅からバスで14分
- 武蔵小杉駅からバスで約20分（バス降車後徒歩約5分）

入試に関する情報提供は本学ホームページで行う予定です。  
【お問い合わせ先】 川崎市立看護大学事務局総務学生課学生支援担当  
神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1 電話 044-587-3502  
メールアドレス：40kangos@city.kawasaki.jp



2025年4月  
開学予定

Kawasaki City College of Nursing Graduate school  
Graduate school of Nursing

# 川崎市立看護大学大学院 看護学研究科

博士前期課程／博士後期課程



## 養成する人材像

### ■ 博士前期課程

#### 【研究コース】

- 専門領域についての深い理解と研究活動を通して保健医療福祉に関わる課題解決や看護学全体の発展に寄与する人材
- 自己教育力と高いプロフェッショナル意識・倫理観を持った人材

#### 【高度実践看護コース】

- 実践における課題の解決に向け、科学的根拠に基づいて思考・分析できる人材
- より高度な専門性と精通した臨床判断に基づきケアとケアを融合した看護を実践できる人材
- 現場でリーダーシップを発揮して多職種と協働・連携し、教育的役割・調整者としての役割を果たすことで地域包括ケアシステムを推進できる人材

#### 【助産コース】

- 実践における課題をその解決に向け、科学的根拠に基づいて思考・分析できる人材
- 高度な助産実践能力と助産管理の基盤となる能力を有し、かつ多様な年代の女性の性と生殖に関わる健康増進のために、生命への尊厳と多様な価値観への配慮をもって支援できる人材

### ■ 博士後期課程

- 自立して看護学の理論的基盤の構築や実践の改革を目指す研究に取り組み、研究を通じて保健医療福祉に関わる課題を解決することで、地域包括ケアシステムの推進に貢献できる人材
- 次世代への教育により、看護学及び看護実践の発展を推進できる人材

## 多様なコースと専門領域

- 博士前期課程【**高度実践看護コース**】を修了することで、公益社団法人日本看護協会が認定する**専門看護師**（履修した領域に関連するものに限る）の**受験資格**を得ることができます（「**高度実践看護師教育課程**」認定申請予定）。
  - 履修領域と専門看護師資格
    - 家族看護学領域・・・家族支援専門看護師
    - 感染看護学領域・・・感染症看護専門看護師
    - 精神看護学領域・・・精神看護専門看護師
    - 在宅看護学領域・・・在宅看護専門看護師
    - クリティカルケア看護学領域・・・重症・急性看護専門看護師
- 博士前期課程【**高度実践看護コース**】を履修する者が、特定行為研修区分別科目のうち当該専門領域に関連する科目（詳細は右頁参照）を修了することで、当該区分に関わる**特定行為研修修了証**が交付されます（「**特定行為研修指定研修機関**」指定申請予定）。
- 博士前期課程【**助産コース**】を修了することで、**助産師国家試験の受験資格**を得ることができます（「**助産師学校**」指定申請中）。
- 通算3年以上の看護師長相当以上の**看護管理の経験**を有する者が、看護管理に関連する学問領域を履修し博士前期課程を修了（要修士論文）することで、**認定看護管理者の受験資格**を得ることができます。

<b>博士前期課程</b> （2年*） *長期履修制度（3年間）あり	<b>看護基盤学分野</b>		<b>地域包括ケア看護学分野</b>		<b>助産学分野</b>	入学定員 <b>18名</b> （うち助産コース3名）  学位 <b>修士(看護学)</b>
	<b>研究コース</b> 家族看護学 看護マネジメント学 看護援助学 感染看護学	<b>高度実践看護コース</b> 家族看護学 感染看護学	<b>研究コース</b> 小児看護学 成人看護学 老年看護学 在宅看護学 精神看護学 公衆衛生看護学 医療経営学	<b>高度実践看護コース</b> クリティカルケア看護学 在宅看護学 精神看護学	<b>助産コース</b> 助産学	
<b>博士後期課程</b> （3年）	<b>看護基盤学分野</b>		<b>地域包括ケア看護学分野</b>			入学定員 <b>5名</b>  学位 <b>博士(看護学)</b>
	看護援助学 感染看護学		老年看護学 公衆衛生看護学 精神看護学 医療経営学			

## 入学者受入れの方針

### ■ 博士前期課程

- 幅広い基礎学力を有し、かつ**希望する専門領域の基礎知識**を有する人
- 人間や社会に対して広く興味**を持ち、**豊かな人間性と高い倫理観**を有する人
- 看護学を通じて地域包括ケアシステムの改善・発展に貢献する意志**を有する人
- 高度実践看護コース志望者は、対応する分野の職務経験**を有し、**専門看護師の資格取得**を志す人
- 助産コース志望者は、助産師の免許取得**を志す人で、**看護師資格又は看護師国家試験受験資格**を有する人

### ■ 博士後期課程

- 職務に関する知見を有し、**看護学への探求心を有する人**
- 看護学研究に対する強い動機と基礎的研究能力を身に付け、**自立して学修する姿勢を有する人**
- 研究を通して、看護学や看護実践の発展に寄与するとともに、地域社会及び国際社会に貢献する意志**を有する人

## カリキュラムと修了要件

### ■ 博士前期課程

授業科目		研究コース	高度実践看護コース	助産コース
共通基盤科目	専門基礎科目	「医療安全学と特定行為実践」「疾病・臨床病態概論」などの特定行為研修に関わる講義〔6科目〕	選択	必修・選択
	看護学基盤科目	「看護研究方法論Ⅰ(概論)」「看護倫理学」などの講義〔11科目〕	必修・選択	必修・選択
看護学専門科目		各専門領域に応じた講義・演習〔各8科目〕	選択	選択
高度実践看護コース科目		各専門領域に応じた講義・演習・実習〔各11科目又は14科目〕	－	選択必修
特定行為研修区分別科目		特定行為16区分(※)に対応する講義・実習〔全15科目〕	－	選択
助産専門科目	基礎助産学	「助産学概論」などの講義〔3科目〕	－	－
	助産管理	「助産管理Ⅰ(基礎)」などの講義〔2科目〕	－	－
	助産診断・技術学	「周産期助産学」「助産診断・技術学Ⅱ(妊娠)」などの講義・演習〔10科目〕	－	－
	地域母子保健	「国際母子保健」「地域母子保健」の講義〔2科目〕	－	－
	臨地実習	「助産学実習Ⅱ(実践・病院)」「助産学実習Ⅵ(実践地域)」などの実習〔6科目〕	－	－
課題研究		「助産学課題研究Ⅰ(基礎)」などの演習〔2科目〕	－	－
修了要件		選択した専門領域の看護学専門科目を16単位、専門基礎科目、看護学基盤科目及び看護学専門科目から14単位以上、計30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格	選択した専門領域の高度実践看護コース科目を28単位以上、専門基礎科目(定められた科目)から6単位、看護学基盤科目(定められた科目)から8単位以上、計42単位以上を修得し、課題研究の審査に合格	助産専門科目49単位、専門基礎科目、看護学専門科目(各専門領域の「講義Ⅰ(基礎)」に限る)から12単位以上、計61単位を修得し、課題研究の審査に合格

※外科術後病棟管理領域パッケージ、在宅・慢性期領域パッケージ、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、感染に係る薬剤投与関連、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

### ■ 博士後期課程

授業科目	履修	
共通基盤科目	「英語論文作成演習Ⅰ」「看護研究法特論Ⅰ」などの講義〔全8科目〕	必修・選択
専門科目	6つの専門領域に応じた講義・演習〔各4科目〕	選択必修
研究科目	6つの専門領域に応じた演習〔各3科目〕	選択必修
修了要件	選択した専門領域の専門科目を8単位、選択した専門領域の研究科目を6単位、共通基盤科目から6単位以上、計20単位以上を修得し、博士論文の審査に合格	